

# 北海道新幹線建設工事に 町民皆様のご理解ご協力を お願いいたします！



北海道新幹線については、2016年3月に新青森〜新函館北斗間が開通し、今年で開通5周年を迎えました。現在は新函館北斗〜札幌までの建設工事が進められています。八雲町においても、町内を南北に約46km縦断する形で新幹線が走ることになり、また、春日地区には新幹線の駅が設置されます。

2030年度の開業に向けて新幹線建設工事が徐々に進んでいますので、今回は、新幹線関係の状況についてお知らせします。

## 建設工事の状況

### ◆新幹線トンネル工事

八雲町においては、計5本のトンネル(トンネル延長約41km)を八雲管内9工区と八

## トンネル掘削土の 受入地について

雲と長万部にまたがる1工区、計10工区に分けて工事が進められており、各工区の進捗状況は表1のとおり、各トンネルの位置は図1のとおりとなっています。

八雲管内で発生するトンネル掘削土は現時点で約400万m<sup>3</sup>(注1)を見込んでおり、うち約210万m<sup>3</sup>が対策土、約190万m<sup>3</sup>が無対策土として発生する見込みとなっています(注2)。

無対策土については、主に土地の地盤改良等に利用するため民有地や町有地で受入しており、処分にはほぼ目途が付いている状況です(注3)。対策土については、町リサ

イクルセンター近くの町有地で令和元年10月より受入を開始、今月で1年半経過しますが、安全に受入が行われています。

このたび、鉄道・運輸機構では、既に受入をしている町有地の隣接町有地でも新たに対策土を受入する方針を決めました(図2)。これで対策土の受入確保量は2か所合わせて、約93万m<sup>3</sup>(全体の約4割)となります。受入地の確保が難航していましたが、関係者皆さまのご理解ご協力により一歩前進できたと思っております。誠にありがとうございます。

また、鉄道・運輸機構ではさらなる対策土受入地確保に向けて、町内数か所で環境調査などを行っており、環境などに影響を与えず安全に受入出来るという結果が出た場合は、関係者皆さまに説明して

表1. 各工区の進捗状況

令和3年2月1日現在

工 区 名	総延長	本坑掘削延長	掘削率	備 考
渡島トンネル(上二股)	4,540m	0m	0.0%	斜坑掘削中
渡島トンネル(上ノ湯)他	5,270m	1,144m	21.7%	
二股トンネル外1箇所	3,115m	1,356m	43.5%	
磐石トンネル(北)他	2,986m	0m	0.0%	横坑掘削中
祭礼トンネル他	1,980m	1,012m	51.1%	
野田追トンネル(南)他	3,675m	2,740m	74.6%	
野田追トンネル(北)他	4,490m	3,976m	88.6%	
立岩トンネル(立岩)他	5,015m	4,236m	84.5%	
立岩トンネル(山崎)	4,960m	1,035m	20.9%	
立岩トンネル(ルコツ)	4,700m	2,018m	42.9%	八雲管内のみの値
合 計	40,731m	17,517m	43.0%	